総社市立秦小学校 **学校だより** 令和５年度　第１４号
６月５日（月）

☆　自主防犯＋地域防犯　☆

２日(金)防犯避難訓練を行いました。今年２回目の避難訓練で今回は学校へ不審者が侵入した想定です。

大阪教育大付属池田小学校に男が侵入し、児童らを襲った事件から8日で22年がたちます。児童8人が死亡し、教員を含む15人が重軽傷を負ったたいへん凄惨な事件です。

私は研修会で、当時亡くなった児童の保護者の方のご講演を聞く機会がありました。事件当日の学校は現在のようなメール配信システムなどはなく、情報はテレビの実況ニュースで得るしかなかったこと。しかも情報は混乱しどこに行けば負傷した自分の子に会えるのかわからず、病院を数か所回ったこと。前代未聞のことに学校も保護者もパニックだったと振り返っておられました。男が子どもたちを切りつける前に、学校職員が不審者に遭遇していたことや教室にいた職員が子どもたちから離れて事件発生の連絡をしに行ったことなど、事態を最小限に食い止めることができていなかったこと。さらに現場の状況から、わが子は男から逃げようとした廊下で襲われていたことなど、この事件を風化させてはならない思いを懸命に語っておられました。

完全にそれまでの『学校安全神話』は崩れたのです。この事件を契機に、学校安全の根本から見直すことになり、学校安全マニュアルの作成や校門の施錠・防犯カメラの設置など、安全対策を強化する施策が施されました。

事件に出くわさないための自主避難・自主防衛、に加えて被害を最小限に食い止めるためには訓練が必要です。今日の避難訓練で学んだことは、自分たちの安全を自分たちで守ることにつながります。

訓練の最後に、「子ども110番の家」の話をしました。危険を感じたら、すぐに逃げ込むことのできる家です。まずその場から逃げることは、最も大切なことです。学校と地域が連携して、子どもたちみんなの安全を守るシステムができていることを付け加え、安全で安心な秦地区になっていることを伝えると真剣に聞いていた子どもたちの表情が柔らかくなりました。